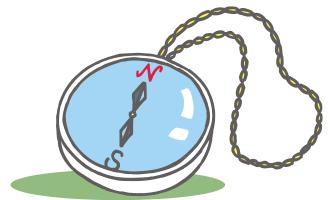


羅針盤



第 1 号 令和5年4月10日(月)

◆『あ・ひ・る』が実行できる人に！

本日、令和5年度の1学期始業式を無事に迎えることができました。これまでの3年間は、新型コロナウイルス感染症の影響によって、学校での教育活動については制約されてしまうことが本当にたくさんありました。コロナ禍の影響により日常での「新しい生活様式」が定着し、感染抑止の対策とともに、マスクを着用しての日常生活でしたが、今日からはマスク着用を基本的には必要としない学校生活が始まります。学校では子どもたちの「学びの継続」を着実に進めることを最優先として、教職員が一丸となって教育活動に取り組んでいきます。これまでの困難な出来事を乗り越えてきた力を原動力として、日々努力することの大切さや、時間を無駄にしないこと、そして、支えてくれている周りの人たちへの感謝の気持ちを忘れずに過ごしてほしいと思います。また、何よりも自主・自立の確立に向けて、次の3つの事がらを心掛けてほしいと考えています。

1、『あ』・・・挨拶ができる人になる

人と人がコミュニケーションをとる始まりとなるのが「挨拶」です。相手のことを思いやり、そして、自分も尊重されているという確認の表れとなります。礼儀の第一歩となる「挨拶」をおろそかにすることなく、大きな声で、気持ちよく挨拶することを心掛けてください。

2、『ひ』・・・人の話を素直に聞くことができる人になる

君たち一人ひとりの健やかな成長を願って、たくさん的人がより良いアドバイスを投げかけてくれています。ただ単に話を「聞く」だけで終わらずに、話の内容を理解し、自分で考え、行動に移すために、耳を傾けるだけでなく「聞く」ことができる人に成長してください。

3、『る』・・・ルールを守ることができる人になる

お互いに楽しい学校生活を過ごすためには、学校にもルール（きまり）があります。ルールを守ることで、秩序が保たれ、互いに相手の気持ちを思いやる関係をつくりあげていくことができます。ルールを守り、城陽中学校の生徒としての自覚を持って、責任ある行動を心掛けてください。

保護者の皆さん、「校長室だより・羅針盤」を通じて、私から子どもたちにメッセージを届けたいと考えています。定期的に本校のホームページにも掲載して参りますので、保護者の皆さんにも、是非お子様とご一緒に読みいただければ幸いです。

(校長 坂井 伸治)

4月1日に、校長として着任しました坂井伸治（さかいしんじ）です。よろしくお願いいいたします。共に学び続ける子どもたちのために、道標（みちしるべ）となるようにという願いを込めた、「校長室だより・羅針盤」を継続して発行していく予定です。城陽中学校の全ての子どもたちのために、よりよい教育活動を展開して参ります。また、学校ホームページでは、日々の教育活動の様子等を、公開していくので、是非アクセスしていただき、ご覧ください。（校長 坂井 伸治）

